



清澄

令和3年1・2月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1
© 清澄寺
TEL 04 (7094) 0525 番
FAX 04 (7094) 0527 番
振替 00140-5-55501
印刷所
天津(有)ブライザ印刷
送料共1部100円

お知らせ

3月

17~23日
彼岸会

4月

27日 13:00
立教開宗会
19:00
報恩唱題行
28日 4:50
開宗曉天法要

合掌 立春大吉

新年の慌ただしさも大分落ち着いてきた頃でしょう。コロナウイルスがとめどもなく広がり大変な世の中になつておりますが、全国の清澄誌々友の皆様には、如何お過ごしでしょうか。

この春、清澄寺はコロナの影響もあり、例年になくとても静かなお正月をお迎え致しました。それでも全国から熱心なご信徒皆様から令和3年辛丑年の平安を願い数多の御祈願のお申し込みを頂きました。誠に尊いこと有難く感謝申し上げる次第で御座居ます。又、二月二日の節分追儺式も緊急事態宣言が再び発令され、今なお終息の兆すら見えない、まだまだ余談を許さない状況ですが、規模を縮小し、自粛開催、法要儀式は営まれました。お正月の行事から節分会まで無事勤められました事、感謝に堪えません。

二月十六日は宗祖日蓮大聖人の御降誕八百年御正当を迎へ、宗門法要が当山住職であられます日蓮宗管長、大僧正、菅野日彰猊下御親修の元、大本山小湊誕生寺様で厳修されました。

そして、誕生寺様の一連行事が無事円成され後、愈々清澄寺が日蓮大聖人旭が森銅像建立百年慶讃の記念事業に向け活動を展開して参ります。令和四年が銅像建立百年に当たり、感染拡大の中、大変な時期かと思ひますが、様子を見ながらも全国の御寺院、教会、結社に勧募のお願いに上がりたく存じております。過日、日蓮宗宗務総長・中川法政猊下は「コロナという試練を宗門の僧侶、檀信徒は異体同心となつて法華経、お題目のみ教えるのもと精進し、今を乗り越えてゆかねばならない、一人一人の命を大切にお題目を縁として、心豊かに安穏な社会づくりを」とご教示下されております。又、私は法縁を同じくしております大阪堺の本山妙國寺、岡部日聰貫首様とは交誼を忝なくしております。昨年の四月二十七日、立教開宗会の事で、お話しを伺い、「是が非でも参上、宗祖大聖人様が建長五年旭が森で誓願された教えの大恩に報謝すべく一人でも旭が森に登りお題目をお唱えに参上致します」と大変なる力強いお言葉を頂きました。更に皆々様から励ましのお言葉、お手紙を頂き、誠に皆様の熱意に頭の下がる思いであります。その励ましに応えるべく清澄の為、努力精進せねばと覺悟しております。どうか宗祖日蓮大聖人様の出家得度、お題目始唱の靈場、宗門のお寺、大本山清澄寺の復興に全国御寺院、教会、結社、檀信徒有縁の皆々様に淨財勧募の御協力、お力添えご尽力賜ります様、伏してお願ひ申し上げ、皆々様の益々の御健勝、御隆昌を祈念申し上げ、御挨拶にかかる次第です。

恭敬再拜

正月各種行事

除夜の鐘

元旦祝祷会並 一番祈祷

11時40分、鐘楼堂にて金子別當の挨拶があり、第一鐘が打ち鳴らされました。

続いて、亀田郁夫市長、

天善神に新しい一年の安泰を祈願させていただくの

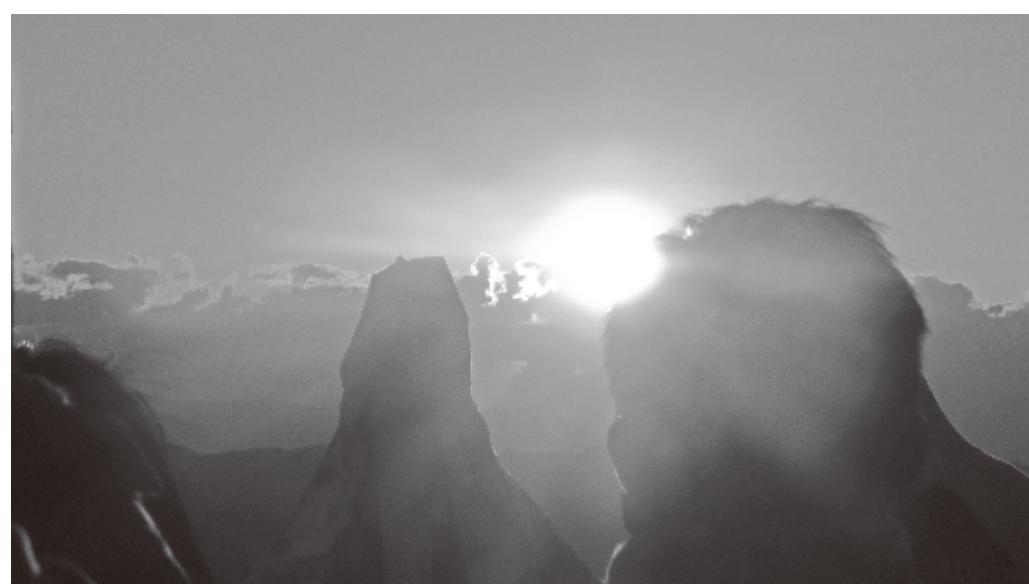
が、元旦祝祷会です。

今年も、「元旦祝祷会」と「一番祈祷」が合同で、金子別當を導師に厳修されました。

本年はコロナウイルス感

染対策として信育道場で御祈祷を行いました。
御前立ちの虚空蔵菩薩を移動し道場御宝前に安置をいたしました。

新しい年の御利益を頂こうと、堂内には参籠者と一番祈祷申込者で間隔をとつた上で満堂になり、全国の信徒様から申し込まれた多くのお札が御宝前に奉安され、令和3年の年中安泰・年中無難を祈り、宮崎執事長修法導師による祈願の読み上げがなされました。



新年を迎え、仏祖三宝諸様に、心を込めて椎鐘されおりました。

佐藤則泰鴨川市消防団長、参籠者、一般の方々と続き、それぞれの煩惱を打ち消す

様に、心を込めて椎鐘されおりました。

新年を迎え、仏祖三宝諸



暁天法要

清澄寺では、1日から7日まで新春特別祈祷を行っております。本年は7日まで晴天に恵みました。

清澄寺では、1日から7日まで新春特別祈祷を行っております。

本年は7日まで晴天に恵みました。

まれ、コロナで参詣者が少ない中でも、境内には読経の声と木剣の妙音が響きました。



清澄寺恒例の節分追儺会
が奉行されました。
本堂では、早朝より修法
師による厄除け祈願や節分

2月2日(火) 節分会

拝をお求めになる檀信徒の方々が参詣され、修法木剣の音が響き渡りました。

コロナ禍の為、行列や芸能ショーは中止になりましたが、午前11時より、金子別當大導師のもと節分追儺会を厳修。

節分福男、福女、並に檀信徒の方々も参列され、法要後御宝前にて、金子別當が代表で年中安泰無病息災を祈り「福は内、福は内、福は内」という掛け声の中、豆が撒かれました。



令和2年

第4回 度牒交付式

今回、全国各地の寺院から22名の度牒生と付添者が来山されました。受付を済ませた度牒生は、仏前所作や読経テスト、交付式の予行演習など、ハードなスケジュールをこなしておりました。

午後3時より中川法政宗務総長を大導師に度牒交付式が執り行われ、度牒生一人ひとりに輪袈裟と証書が手渡され、度牒生代表の発音により、全員で仏道修行への邁進を仏祖三宝にお誓い致しました。



旭が森境内整備スロープ工事進捗状況



当山の御神木、大杉最上段の枝（約4メートル）が、剥がれ、45メートル付近で引つかかっていることが樹木医によるドローンの撮影でわかり、いつ落下してもおかしくない状況でした。

鴨川市教育委員会との話し合いの結果、大型クレーンを使い昨年12月、無事に撤去する事ができました。撤去した枝は、本堂脇に安置しております。

大杉保存整備にご協力をお願いします。（一口一万元）ご協力いただいた方には、千年もの歳月の枝一端をお

御神木（国指定天然記念物） 千年杉の枝折れる

送りさせていただきます。

吉
祥
年
好

「新年明けましておめでとうございます」本年も宜しくお願い申し上げます。

月を迎えることになりました。コロナ禍での初めてのお正月参詣の方に安全にご参拝

が出来るよう色々話し合った結果、4日まで、新春特別祈

祷を信育道場にて行いました。場所等もわかりづらく、ご不便をおかけしました事をお詫び申し上げます。

元旦は、少し雲もありますが、晴らしい御来光を拝む事が出来、7日まで晴天に恵まれました。

節分会も豆撒きや、芸能ショーが中止となり、少し寂しい新年のスタートとなりましたが、今年は御降誕800年という記念すべき聖日の年でもあります。

皆様と共にありがたいお題目を唱えし少しでも早い終息を願い、未来への希望に満ちた年に変えていきましょう。

立春も過ぎ、少しづつ春の足音が聞こえてきておりますが、まだまだ寒い日が続きます。どうぞお身体御自愛下さい。